

第 6 回大会は、本学会の原点である東海地区での大会になりました。本学会会長の加藤幸次の指導の下、東浦町の教師たちが始めた個に応じた教育は、30年の時を重ねてきました。個性化教育と本学会の歩みが感じられる大会となりました。

日本個性化教育学会 第 6 回全国大会（東海大会）

■テーマ 「豊かな支え合いの中で、自立した個を育む個が生きる授業づくりの探究」 ～

■期日 2013 年 8 月 3 日（土）・4 日（日）

■会場 中日美容専門学校 2 号館

■日程 1 日目 8 月 3 日（土）

9:50 開会行事

10:00～10:45 対談「東海地方の個性化教育を振り返って」

加藤幸次（本学会会長） 稲葉耕一（東浦町教育長）

10:50～12:30 シンポジウム 「ESD（持続発展教育）の視点で教育活動を見直す」

司会 奈須 正裕（上智大）

シンポジスト 魚住忠久（愛知教育大） 新海洋子（環境省中部環境パートナーシップオフィス）

伴 浩人（東浦町立緒川小）・櫛田敏宏（愛知県立豊田東高）

13:30～16:30 分科会・自由研究発表

■課題研究 A

「一人学びとその支援」

コーディネータ：

澤田 稔（上智大）

佐野亮子（東京学芸大）

実践提供：

佐方貴文（東浦町立石浜西小）

※ワークショップ

■課題研究 B

「居場所づくり・仲間づくり」

コーディネータ：

浅沼 茂（東京学芸大）

高橋直之（東浦町立緒川小）

野瀬陵我・須崎陽子（東浦町立卯ノ里小）

岡 稚佳（仙台市立北中山小）

齋田純一（仙台市立東四郎丸小）

※実践報告と討論

◆自由研究発表 I

コーディネータ：

高浦勝義（明星大）

※研究発表 4 件と協議

16:40～17:10 会務総会

■日程 2 日目 8 月 4 日（日）

10:00～12:30 分科会

■課題研究 A

「一人学びとその支援」

コーディネータ：

澤田 稔（上智大）

佐野亮子（東京学芸大）

実践提供：

近藤公枝（高知市立介良潮見台小：実践時）

平間久美（板橋区立大谷口小）

※実践報告と討論

■課題研究 B

「居場所づくり・仲間づくり」

コーディネータ：

浅沼 茂（東京学芸大）

「日記の朱書と教室での事例を足場に子ども理解の手立てを考える」

藤本勇二（武庫川女子大）

※ワークショップ

◆自由研究発表 II

コーディネータ：

谷口育史（近大姫路大）

※研究発表 4 件と協議

13:30～15:30

■課題研究 A

「一人学びとその支援」

コーディネータ：

澤田 稔（上智大）

佐野亮子（東京学芸大）

実践提供：

那須 稔・板垣昭吉（東浦町立卯ノ里小）

宮本 彩（板橋区立板橋第一小）

※ワークショップ

■課題研究 B

「居場所づくり・仲間づくり」

コーディネータ：

浅沼 茂（東京学芸大）

「支援困難な子どもへの対応を話し合う～ABC分析を中心にして～」

光武充雄（九州個性化教育学会会長）

※ワークショップ

15:40～16:00 閉会行事

対談 「東海地方の個性化教育を振り返って」

加藤 幸次（本学会会長）、稲葉 耕一（東浦町教育長）

「最近の実践が、心ときめく感動的なものになっていないのはなぜか。」

り、カラフルな教科教室型の学校で新境地を楽しまれている。

（千

葉 加藤）



シンポジウム 「E S D（持続発展教育）の視点で教育活動を見直す」

司会 奈須 正裕(上智大) シンポジスト 魚住忠久(愛知教育大)

新海洋子(環境省中部環境パートナーシップオフィス)

伴 浩人(東浦町立緒川小)

櫛田敏宏(愛知県立豊田東高)

最初に基調提案あり「E S Dに関するユネスコ世界会議 開催支援計画」(大野)

「E S D大野は個性化の考え方にもつながる。そもそもE S Dとは？教育を変革していくことの意味は？」(奈須) 「否定するつもりはさらさらないが「持続可能な開発」の



概念を十分に吟味したのだろうか。明治以来、発展・成長・開発は良きものとして刷り込まれてきたが、開発が続く限り環境は悪化する。現実をきちんと把握することが大事。問題解決学習に安住せず、意思決定学習で実践し、それを評価する。未来を背負う子どもたちに健全な選択を考えさせる。判断力、決断力、行動力を育みたい。」(魚住) 「なぜ今E S Dが必要なのか。貧困、戦争、生物多様性低下、温暖化。子どもたちは未来がよくなると思っていない。どうやって生き続けたらいいか、気付いている人は増えているが、変えるまでの力をもっていない。必須のチカラは自己肯定感、未来思考力、課題解決力、批判的思考力。」(新海) 「H20 からE S Dの学校への導入について研究してきた。持続不可能性を認識し、批判的思考や自己肯定感の向上を目指すのが、いきなり難しいことはできないので、小さなことを解決しながら継続的に発展させていく。生活科・総合と各教科を関連させ、学校全体で地域とともに取り組みたい。」(櫛田) E S Dは生きる力の育成と同じで、今あるものに視点を加えて組み直せばできる。米作りやアートマイルの実践では、つながりを考え「自分事」として取り組んだが、個性化のベースがあったからスムーズに導入できた。「自分がやったって変わらない」をE S Dで議論し、乗り越えさせたい。(伴) 環境は単年度で変わるものではない。何年かかっても発想で問い直したい。愛知の大会が成功し、続き、発展することを願う。(奈須)

(緒川小 原)

分科会

課題研究A「一人学びとその支援」

コーディネータ：澤田 稔(上智大) 佐野亮子(東京学芸大)

教科の一人学びを実現する学習環境の考え方と手だてに内容を焦点化し、参加者の具体的な活動を通

(愛知 竹内)



課題研究B「居場所づくり・仲間づくり」 コーディネータ：浅沼 茂(東京学芸大)

実践報告と討論 高橋直之（東浦町立緒川小） 野瀬陵我・須崎陽子（東浦町立卯ノ里小）
岡 稚佳（仙台市立北中山小） 齋田純一（仙台市立東四郎丸小）

1 日目午後の課題研究 B では「居場所づくり・仲間づくり」をテーマに 4 組の実践報告があった。高橋先生は自治活動について、野瀬先生と須崎先生は縦割り活動について、岡稚先生は新生の居場所を支えるスタートカリキュラムについて、齋田先生は児童理解に基づいた学級作りについての実践報告であった。質疑においては、まず自治活動について意見が交わされた。自治という美名において、実は教師がルールを敷いているかっこつけの自治になっていないかという指摘であった。次に縦割り活動の難しさと良さについて話し合われた。高学年生と低学年生を組み合わせるペア活動では、マッチングに腐心しているということであった。また、縦割り活動では学級では見せない顔を見せるため、児童理解のチャンスであるという意見が出された。（東京・大野）



実践ワークショップ 「日記の朱書と教室での事例を足場に子ども理解の手立てを考える」 藤本勇二（武庫川女子大）

実践ワークショップ 「支援困難は子どもへの対応を話し合う」～ABC分析を中心として」

九州個性化教育学会 光武充雄

困難な状況にある発達障がい等への支援ですが、その一助になればと思い、ABC 分析を取り上げました。とにかく、否定的関わりから肯定的関わりへ流れを変えること、子どもたちが、自ら、行動の改善に取り組み、その成功体験を積み重ねていくこと、それを肯定的に強化していくこと、そこに保護者も巻き込むことが主眼です。こうした具体的な実践をひとつひとつやっていくしか道はありません。今回、現場の実践に生かせるようなワークにしたいと考えていましたが、中途半端で終わってしまいました。ぜひ、持ち帰って、ABC 分析やソーシャルストーリーを糸口として、具体的な実践につなげてもらえたらと願っております。ありがとうございました。（佐賀 光武）

自由研究発表 発表者・発表題目一覧

●自由研究発表Ⅰ 8月3日（土）13:30-16:00 コーディネータ：高浦勝義（明星大学）

「モンゴル国におけるケンブリッジ・カリキュラム試行の実践報告」…井場麻美（東北大学大学院）

「英国ボーディングスクールにおける個性化教育」…コーシア郁実（ダラム大学）

「離島（へき地校）における教育活動の実際～『一人ひとりを大切にする』という

原点に立ち返って～」…池田信一（福岡県新宮町立相島小学校）

「大学における個性化教育の試み～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する授業を目指して～」

…谷口育史（近大姫路大学）

●自由研究発表Ⅱ 8月4日（日）10:00-12:30 コーディネータ：谷口育史（近大姫路大学）

「小学校における体験的な学習とパフォーマンス課題との接続に関する研究」

…浦郷淳（佐賀大学文化教育学部附属小学校）

「個性を生かした理科教育の在り方～学習過程と言語活動に着目して～」

…中島勝義（岐阜県揖斐川町教育委員会）

「高校現場における『主体的な学び』～戦争を多面的に見る目を育てる～」

…小原孝久（上智大学・放送大学）



「情報通信機器を活用したグループコミュニケーションについての研究」

…藤原靖浩（関西学院大学大学院）

お知らせ

来年度の第7回全国大会は、九州個性化教育学会を中心に、以下の日程で開催の準備をお進めいただいています。なお、詳細につきましては、随時決まり次第学会HP上にアップすると共に、改めて1次案内（2014年4月頃）、2次案内（2014年6月頃）としてご案内申し上げます。

開催地：福岡県甘木市 施設については現在交渉中

開催日：8月2日（土）・3日（日）

なお、併せて開催の免許更新講習（選択講習）は、8月1日（金）～3日（日）の3日間です。

〈事務局への問い合わせ・連絡先〉

庶務部長 佐久間 茂和

〒338-0013

埼玉県さいたま市中央区鈴谷 3-9-14-510

TEL 048(678)1681

e-mail sakuma.s@s7.dion.ne.jp

日本個性化教育学会ホームページ

<http://koseika.com/>

日本個性化教育学会 第19号

平成25年 9月14日発行

編集責任者 事務局長 奈須 正裕

編集 広報部 中田 泰志